

富良野看護専門学校 広報誌

看 心 ふ ら の 第 4 (1 1) 号

発行日 平成23年9月22日

発行者 富良野看護専門学校

○ 盛夏に盛会！ 多くの市民のご来校に感謝 ～第18回本校学校祭～

8月27日(土)晴天の下「夢重奏」をテーマに開催、午前は学内発表会で男子学生のバンドライブに講堂は割れんばかりの音響と歓声。午後は一般公開で、玄関前の手作りやきそば、たこ焼き、飲み物販売、ホールのお茶会、講堂のヨーヨーつりや輪投げ、特製プリン販売などの模擬店、2Fでは「知ろう！体のヒミツ」展示コーナー、プリザーブドフラワー部の体験・展示即売会、実習室の「看護体験」などが開かれました。多くの市民の皆様に見学学校への理解を深めて頂こうと、実行委員会を中心に全力で準備に当たり盛会裏に終了しました。関係各位のご支援・ご協力に厚くお礼申し上げます。

「第18回学校祭を終えて」 学校祭実行委員長 2年 片田 舞

今年の学校祭のテーマは「夢重奏」でした。このテーマには「みんなの思いを奏で重ねていくことで一つの大きな夢を叶える」という意味が込められています。一人ひとりの力を出し合うことで先輩・後輩との交流を深め、私たちだけではなく地域の方々にも楽しんでいただける学校祭になったのではないかと思います。限られた時間の中での準備はとても大変でしたが、周りから沢山のアドバイスや手助けがあったからこそ無事に学校祭を終えることができたと感じています。最後に学校祭を開催するにあたって協力していただいた全ての人に感謝申し上げます。ありがとうございました。

～市内施設見学(1年)～(6/3(金)実施・・・学生の感想文(抄)を随時掲載します)

・富良野の施設は市民が一丸となって作り維持しており、それらは看護につながるものと感じた。一番印象に残っているのが演劇工場での倉本聡さんの「大切なのはハード(外見)ではなくソフト(中身)である。どんなに素晴らしい建物でもその中でどんな芝居をするかが重要である。」とのお話である。最先端の医療技術の病院も、看護師が人間尊重の心の通った看護が出来なければ機能を果たせない。(略)役者が市民を楽しませるように看護師として何をすべきかを常に考え、貢献していきたいと思った。 庄司 理恵

・市内見学をして自分が生まれ育った富良野の知らない部分が以外にも多いことを知り、地域社会への関心を高めることができ、多くの施設それぞれの魅力や力を入れている所を目にしてとてもよい機会となりました。(略)最後に印象に残っている施設の一つは環境衛生センターとリサイクルセンターで、今の自分の生活を振り返るきっかけとなり、それはごみの分別をしっかりすることや資源を大切にすることです。これからも地域行事などに積極的に参加して地域への関心を高めていきたいと思っています。 村上 玲果

・・・SCHEDULE・・・ 9/2～10/24の行事・動向(含終了)

9/2(金)全学特別講演会「国際医療協力」松田整形外科記念病院 矢倉幸久先生

9/5(月)3年実習4クール 9/26(月)3年実習5クール 2年成人 実習開始

9/14(水)ことぶき大学交流会(ことぶき大学生60名、本校1,2年64名)

10/2(日)第49回北海道障害者スポーツ大会陸上競技ボランティア(1年32名)

10/17(月)3年生実習6クール目開始

10/18(火)～19(水)1年看護技術試験

10/20(火)避難訓練

10/24(月)就職説明会(1,2年)

耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

～『1日1汗』運動のすすめ～ 「人間の体は、適度に使うと発達し快調、使わないと退化し不調、使い過ぎると障害を起こす」(ルーの法則)ことは誰にもうなずけます。しかし、ともすると「適度に使うこと」を怠り運動不足気味なのが、便利すぎる現代生活の健康課題であると指摘されます。日々快い汗をかくような運動を心がけないと、いつしか身体の諸器官が不調に陥る可能性があります。できればウォーキングやジョギングで通学、通勤、買い物するなどを心がけたいものです。(丸 昇)

++++ あ・ん・て・な ANTENNA +++++

北海へそ祭りに参加して (2年S.K)

当日、会場に行くと普段見られないたくさんの方がいて賑わっていました。先生や先輩方は浴衣できれいなお姉さんになっていて、1年生も可愛い囃腹で大きな声を出し、へそ祭りをみんなで楽しみました。突然雨が降り出し、ずぶ濡れになりながらも先輩方を筆頭に声を出し、踊りきることができました。今年のへそ祭りはずぶ濡れになったけどいい思い出になりました。来年こそ賞をとれるようにがんばりたいです。(開始早々から豪雨に見舞われながらも、本当によく踊り続け健闘しました。学校長)

ささやき S&T・・・学生の、教員の、みんなの声

S:○入学して、5ヵ月が経ちましたが、私の中では1年経った気がします。課題やテストで毎日大変ですが、全て自分の為だと思って頑張っています。毎日充実した日々です。(1年A.I) ○気がつけばもう9月の中旬。時が経つ早さには本当に驚きを隠し切れません。北海道にも台風が上陸して、寝ても覚めても雨、雨、雨の毎日も落ち着いてきたところで、私達2年生はもうすぐ成人の実習が始まります、2年生の皆、支え合って頑張ろうね。(2年M.S)

T:カリキュラムの過密な状況から1日(一般公開は半日)に縮小した形の学校祭だが、2年生を中心に今年度も地域への発信・交流を図る貴重な体験となった。当日はもとより事前の企画・準備での地域との連絡・調整や全学生の行動化までの細かな調整など多くの努力と学びがあったと実感する。学業と両立の中、今年度も滞りなく開催できた学生の底力を喜ばしくも誇らしくも思えたひと時である。(教員 渥美孝子)